

写真：日吉神社から望む街並み



会社員時代

議員になる以前は、東京に本社を置く保険会社の本部で、事務の効率化と品質向上に関する業務に長く従事していました。

全国の支部や集中事務処理センターでは、新規契約や内容変更、保険金請求・支払いなど毎日膨大な事務処理が行われます。

そこで、特定事務の発生件数と平均処理時間、ミス発生率などを集計することで全体所要時間を算出とともに、得られた情報を基にして負荷の大きい事務手順や書類などを改善することが私の担いの一つでした。

事務の速さと正確さは相反すると思われがちですが大抵は手順や書類の改善によって両方を同時に向上させることが可能です。

中でも、事務ミスは遅延などで顧客の不利益に繋がることに加え、変則的な復旧事務の発生で膨大な時間と労力(=人手)を要するため、撲滅が求められます。

役所にも未だに紙書類やアナログ事務が多数あり、事務改善を行うことで品質と効率の同時向上ができる議員6年目を迎え、より一層強く思っています。

議決なしの備品等購入問題に関する Q&A

新聞報道等でご存知の方が多くと思いますが、過去10年にわたり、議会の議決を得ずに備品や土地を購入していた案件が複数発覚したため、6月定例会において改めて議決と承認を行いました。

Q.問題の概要は？

A.町の条例では予定価格700万円以上の物品と土地(5000㎡以上)の取得には議会の議決が必要です。しかし、過去10年で電子黒板など6件(約7300万円)と土地2件(約3200万円)について議決を得ないまま購入していたものです。同じく議会へ知らせる必要のあった発注工事5件の契約価格変更も報告されていませんでした。

Q.何故発覚したの？

A.新たに部署異動した職員が過去の書類を確認した際に1件が発覚しました。その後、文書保管期限の10年にわたり、過去の全ての書類を確認した結果、新たに複数の事例が発覚しました。

Q.何が問題なの？

A.町の直接的な金銭損失は発生しておらず、意図的な処理ではなく過失によるものです。しかし公務員が誤って、本来順守すべき条例に反した処理を行っていたこと自体が問題とされています。

Q.議会では分からなかったの？

A.今回は1つの物品で700万円を超えるものではなく、電子黒板などの物品を契約上、複数一括購入していたもので通常の流れでは議会が把握するタイミングはありません。しかし、過去には他の自治体でも類似のミスが発生しており、確認を促すような質疑・意見をすれば、より早期に発覚した可能性は十分にあります。

Q.結局どうなったの？

A.6月定例会において、全ての案件が議決・承認され、条例および手続き上の課題は解消されました。一方で、町長と副町長の給与を一定期間減額するとともに、当時の担当部長らに戒告の懲戒処分、課長や係長らに訓告や嚴重注意処分がなされました。

Q.再発防止に向けてはどうするの？

A.町からは各担当部署と財務部署の双方で、事務フロー(流れ)の見直しや、意識向上に向けた研修を徹底して行うとの説明がありました。

私は町の説明内容に加えて、①事務フロー図(書面)に落としのの流れの確認と手順の改善、そして②本誌2ページにある「ハインリッヒの法則」を引き合いに出し、今回発覚した案件に留まらず全ての事務における規律徹底と手順確認をすること等を求めました。

- ▶1982年11月 大津町生まれ(35歳) かなだ 英樹
- ▶米国留学を経て、慶應義塾大学 経済学部に入社・卒業
- ▶2007年4月 第一生命入社 2012年9月 退社  
(事務企画部、海外業務研修生(英国scottish widows社へ1年間赴任)、国際業務部 業務リーダー(主に事務構築・改善を担当)、支社課長を経て退職)
- ▶2013年3月より現職(現在2期目)

- ▶資格等
- ・英国勅許公共財務会計協会日本支部認定 『地方監査会計技能士』
- ・日本防災士機構認定 『防災士』
- ・国際コミュニケーション英語能力テスト 『TOEIC945』
- ・第12回マニフェスト大賞 『優秀マニフェスト推進賞<議会部門>』受賞

今号のテーマ

科学が支える “子どもの被害防止”

個別集落から考える “全体のまちづくり”

かなだ 金田ひでき

大津町議会議員



活動と町の話

▼政策情報誌「毎日フォーラム」への掲載

金田(かなだ)の取り組みが「官と民」「中央と地方」をつなぐ政策情報誌「毎日フォーラム」の4月号に掲載されました(1ページ分)。

昨年の「第12回マニフェスト大賞」の優秀賞受賞を受けて選定されたとのことでした。

今後我が町をより良くしながら、地域に資する先進的な好事例を全国へも力強く発信していきたいと考えています。



▼「新庁舎イメージ図(案)」の公開

新庁舎のイメージ図が公開されました。

まだ案の段階ですが、このイメージを基に更なる議論を重ねより良い庁舎が造られます。現在は各部署が異なる建物に点在しており、住民の方にもご不便をお掛けしていますが、より良い庁舎となるように、私もしっかりと意見していきます。

なお、開庁は2020年12月の予定です。



発行:金田ひでき後援会 〒869-1233 大津町大津1450-16  
TEL 090-4942-4702 FAX (096) 293-3352  
E-mail four.leaf.clover.321@gmail.com

facebook blog

金田ひでき 検索

( 一般質問における政策提言 )

# 1. 児童の見守りと安全確保 ( 科学が支える子どもの被害防止 )

☞ 「科学に基づく徹底した危険対策」と「通学路の優先整備」等を提言

児童は危険察知能力も回避する能力も低く、交通事故を例に挙げれば7歳をピークに小学校低学年が巻き込まれる事故は突出して多くなっています。

また、メディアでは特に凶悪なものが繰り返し報道されますが、殺人・誘拐・暴行・猥褻などの児童を標的とした卑劣な犯罪は毎日のように起こっています。

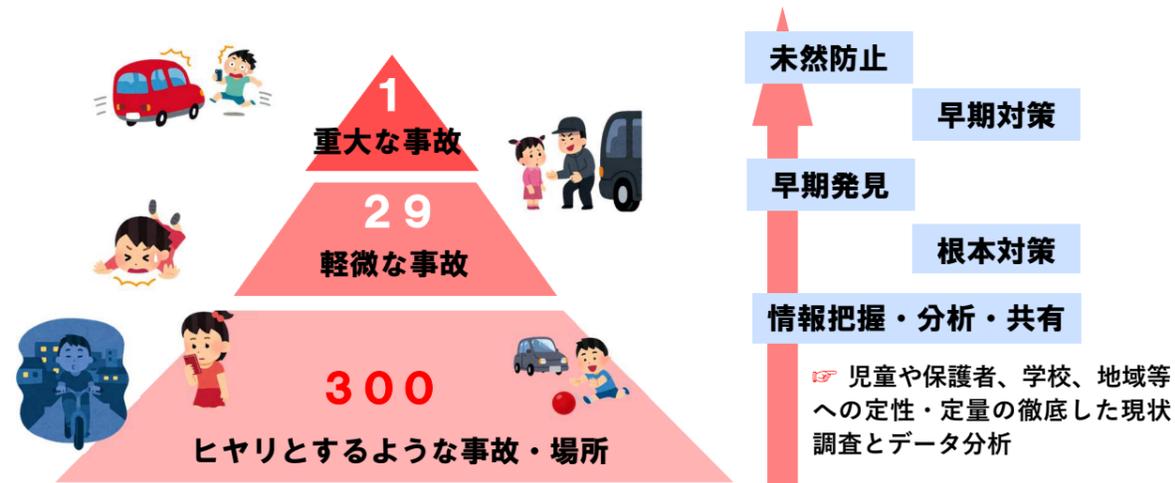
子ども達を健やかに社会へ巣立たせるために、必要な対策を地域全体が協力しながら、責任を持って行う必要があります。

町からは前向きな答弁があったので、動向は当該報告誌でも随時ご報告します。



## 事件・事故の“予兆”を掴む大切さ (ハインリッヒの法則)

▶ 1件の重大な事故の裏には29件の軽微な事故、その背景には300件の「ヒヤリハット」があるという概念です。民間企業の現場事故対策では以前より生かされています。



小さな気になり事も把握・分析・共有し  
根本原因への早期対策をすることで  
重大な事故のタネを未然に潰す

「あそこは前から危ない  
と言われていたのに」  
そんなケースを徹底してなくす！

### 得られた情報の活用

- ▶ 危険地域への優先対応
- ▶ 通学路・安全マップの見直し
- ▶ 町担当部署や地域・学校の安全会議
- ▶ 青パト等の巡回ルート見直し
- ▶ 家庭・地域への啓発
- ▶ 防災教育

### 防犯機材やテクノロジーの導入

- ▶ 児童用ベスト
  - ▶ 自転車の後部ライト
  - ▶ 街灯の早期LED化
  - ▶ 監視カメラ付き自販機
  - ▶ 青パト用ドライブレコーダー & 録画走行周知ステッカー
- 録画巡回中

# 2. 個別集落から考える全体のまちづくり

☞ 町全体だけではなく「個別集落」の現状に基づく活性化施策を提言

大津町は全体としては人口が増加し、高齢化率の伸びも比較的緩やかですが、集落別に見れば状況は様々で、人口減少率や高齢化率が全国平均を上回る地域も少なくありません。

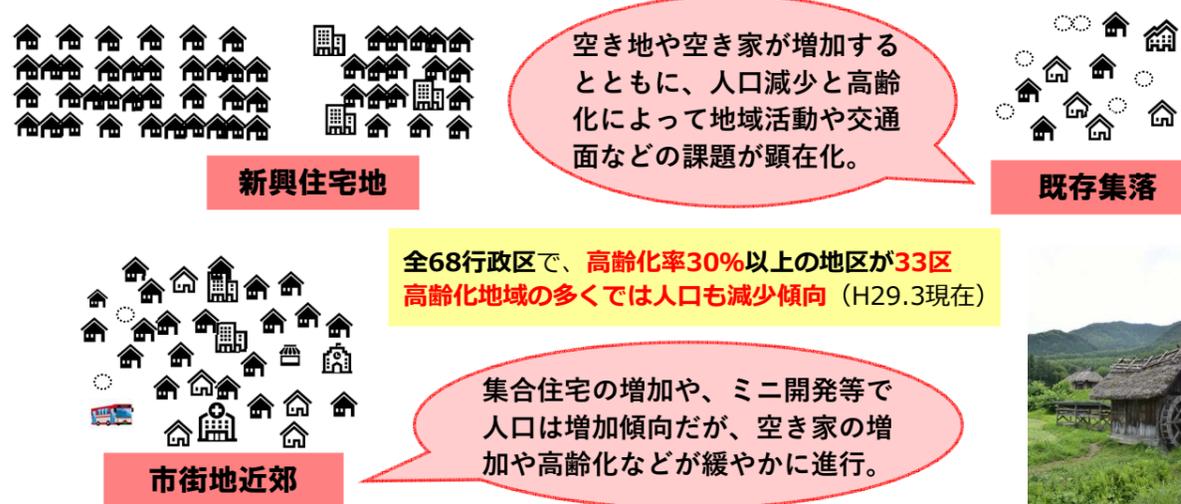
したがって、各集落で個別課題に基づく議論を進めなければ、特に過疎や高齢化地域での住民生活はジリジリと厳しさを増していきます。

まずは、具体的議論の材料となる「個別集落データ(カルテ)」を基に各課題と向き合い、「集落の未来をどう描き、何を求め、何を進めるか」の計画づくりを「地域住民が主役」を前提に、官民協働で始める必要があります。

提案の結果、カルテの整備も行いながら今後の取り組みを進めたいとの答弁がありました。

## 人口増加と裏腹に進行する過疎化と高齢化

▶ 大津町の人口増加は、基本的に「新たな開発」によるもので、多くの既存集落で人口減少と高齢化が進行している現状があります



町全体として発展していても、**住民の生活基盤は個別集落**にあります。したがって、「全体」と同時に「部分」に目を向けなければ、今後様々な問題が多くの集落で、生活課題としてより一層顕在化していきます。

### 【個別集落計画を創るための仕組み】

個別集落カルテ (各種統計・推計データ)

- ☞ 集落別の人口・高齢化・介護認定・単身世帯数 等
- ☞ 空き家・空き地の実数や将来推計
- ☞ 地域生活や公共交通の存続等、今後生じうる懸念点

専門的助言、議論の整理・進行ができる人材 (地区担当職員・外部講師)

- ☞ 行政の予算・制度、先進事例等の提示・共有
- ☞ 議論の進行・掘り下げ、実現性や実施課題などの整理

例えば、「観光名所や新しい道路ができれば集落が活性化して人口も増やせる」というような議論に至りがちですが、「**現実的な手法か**」、「**手法の実現が本当に人口増加に繋がるのか**」等の整理が必要です。

また、そもそも「**多少の人口増加によって解消できる地域課題は一部**」であり、人口増加策のみを考えるのではなく、多様な生活課題一つひとつに基づく丁寧な議論が不可欠です。